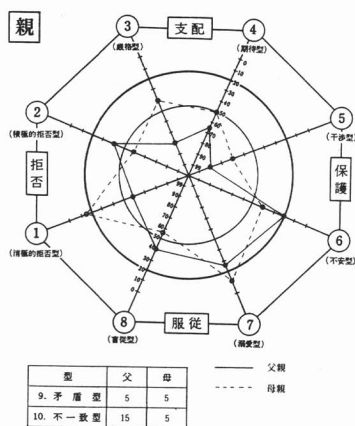


が嫌われる傾向が強くみられる。妻との間で子どもの勉強やしつけなどについて考えが合わないと思うことが多い。夫も妻と同様に、その時の感情によって、しつけなどが変りやすい矛盾型である。一生懸命子どもにかかわろうと、子どもの日ごろの生活や、勉強のこと、将来のことなどについて、心配をした時には不安を抱きがちでもある。

—親子関係診断検査—



5. 診断

- 乳幼児期の本人の母親への甘えと依存を無条件に受け入れることを拒んだこと、及び現在も続いている母親の本人を無視するような母子関係のために、母子間に今もって信頼関係が形成されていない。
- そのため、本人の自主性、自律性を育てる母親の本人への切りはなしが、発達に応じて適切に行なわれていない。
- また、母親の自己中心的、拒否的な母子関係を対人関係のモデルとして身につけてしまい、適切な人間関係をもつことができず、友だちとトラブルをおこし、他を批判したり、攻撃する行動としてのいじめである。

6. 指導仮説

- ◎ 親子関係、特に母子関係を次のように改善す

る

- いつも母親の存在を気にしたり、甘えたり依存しようとする私

↓

- 母親に信頼されている私
- 両親に安心して守られている私
- 心配することなく安定した気持ちで外に向かえる私

母親へのカウンセリングと、学校での本人に関する良い情報を担任から母親へ伝え、それを母が本人に伝え、本人の行動を改善していき、強化していく。

- ◎ 対人(友人)関係を次のように改善する

- 自分よりも劣っていると思う人をいじめる私
- 自分を受け入れてくれない人の方が悪いのだと思っている私

↓

- 友だちのよいところを見つけられる私
- 友だちを受け入れる私、友だちを信頼する私

本人へのカウンセリングとロール・プレイングを通して改善する。

- ◎ 自主性、積極性を育てる

グループ活動、学校行事への参加などを通して行動を強化していくストロークを与えることによって改善する。

- ◎ 父母の関係を次のように改善する

- 家の中でおとなしいお父さん
- 妻と子どもの前で口争いをするお父さん
- 子どものしつけに一貫性のないお父さん

↓

- 家の中で子どもとかわる時中心になるお父さん
- 子どもに矛盾したことを言わないお父さん

- 子どものしつけに一貫性のないお母さん